



東風

〇月〇日

『明るく伸びる子』

〇考える子 〇助け合う子 〇やりぬく子
〇じょうぶな子

【経営の重点】

「なりたい」を支える学校

令和6年7月26日発行 第5号

地域に生きる子どもたち

7月7日～9日の岩内神社例大祭。子どもたちは数日前からお祭りのお話でもちきり、大変楽しみにしていました。私は初めて参加しましたが、大きなお祭りで驚きました（地域の方から、昔はもっと大きかったとお話うかがいました）。お祭りの熱気が町全体を覆っていました。保護者の方々にも祭典補導にご協力いただきました。誠にありがとうございました。お祭りで会った子どもたちの表情を見て、自分が子どもの頃のお祭りを思い出しました。

私は新潟県の長岡市で生まれ育ちました。今から40年ほど前でしょうか、1学期の終業式がある日に、いつも町内のお祭りがありました。明日から夏休みだ！という喜びと交じって、小さいながらもこの町内の小さな公園で開かれる一日だけの祭りを心待ちにしていたことを思い出します。ここで一つふるさと自慢を。長岡市の祭りは、日本三大花火と言われるほど大きな花火大会があり、今では2日間で約2万発を打ち上げる大きなものになりました。他の花火大会を見ていたわけではありませんが、子どもながらに、長岡の花火はふるさとの誇りでした。

もう一つふるさと自慢を。長岡市は、元総理大臣の小泉純一郎氏が述べた「米百俵の精神」の舞台となったところです。「米百俵」のお話は以下の通り。



戊辰戦争で敗れた長岡藩は、戦火で城下は焼け野原となり、7万4000石から2万4000石に減られ、実収にして6割を失って財政が窮乏し、藩士たちはその日の食にも苦慮する状態だった。このため窮状を見かねた長岡藩の支藩から百俵が贈られることになった。

藩士たちは、これで生活が少しでも楽になると喜んだが、藩の指導者小林虎三郎は、贈られた米を藩士に分け与えず、売却して学校設立の費用とすることを決定する。藩士たちはこの通達に驚き反発して虎三郎のもとへ押しかけ抗議するが、それに対し虎三郎は、「百俵の米も、食べばたちまちなくなるが、教育にあてれば明日の一万、百万俵となる」と諭し、自らの政策を押し切った。こうして国漢学校が開設し、長岡に人材を輩出した。まちづくりの基本は人づくりであると説いた「米百俵の精神」である。

「人づくりはまちづくり」 これからの社会に生き、社会をつくる子どもたちは「まちの宝」です。大きくなった子どもたちが、自分の街を誇りに思えるように、「ふるさと」を愛し、地域に関わり、志を高くもって自分や周りの人たちの幸せを実現していく人材になればと願います。学校は、子どもたちが大きく成長し、輝きを増すよう支えます。

22日に開催されました第1回岩内東地区学校運営協議会では、委員の方々から「子どもたちのため、学校のために何ができるか」熱いご意見をいただきました。地域の方々と子どもたちの今とこれからを見つめ、今後ともお力添えをいただければと思います。

本日の終業式では、1学期の初めに立てた「なりたい」がどのくらい達成できたか振り返りをしました。どうして達成できたか？達成できなかったか？自分を見つめ、次の一步を踏み出してほしいと思います。そのために、まず一つ、自分を成長させる小さな目標を考える夏休みであってほしいと伝えました。自分の小さな「なりたい」を一つずつ実現し、大きな「なりたい」につながるよう、2学期も子どもたちを励まし、支えてまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に御理解いただき、温かい励ましのお言葉を多くいただいております。2学期もよろしく願いいたします。



挨拶運動について

児童会代表委員会による挨拶運動が行われました。「おはようございます。スマイル、スマイル。」と代表委員の明るい声が1階廊下に響きわたり、子どもたちも、にこやかに（恥ずかしそうに）「おはようございます」と、挨拶をしあう姿がとても素敵でした。挨拶は人と人との心をつなぐ言葉で、気持ちの良い挨拶をしたり聞いたりすると、すがすがしい気持ちになり、自然と笑顔になります。

学校では、これからも、朝や帰りの挨拶とともに学校で働く人たち、お客様、お友達など、いつでもどこでも、だれとでも気持ちの良い挨拶ができるよう指導を続けていきます。ご家庭でも、日常の挨拶の指導を、よろしくお願いいたします。



鬼ごっこ集会

体育委員会主催の鬼ごっこ集会がありました。中休みに1・2年生、3・4年生、5・6年生で行いました。

子どもたちは、水分補給等を十分に取しながら、とても楽しそうに取り組んでいました。体育委員の児童たちもみんなに喜んでもらうためしっかりと準備することができていました。



お祭りについて

7日～9日に岩内神社例大祭が行われ、多くの子どもたちが友達同士や家族で楽しいひとときを過ごし、岩内町の伝統に触れることができました。

夏休み中の8月3・4日には岩内怒涛祭りが開催されます。きまりを守って楽しくお祭りに参加してほしいと思います。

また、岩内祭りには巡回指導にご協力いただきました。ありがとうございました。



楽しい夏休みにするために

- 睡眠時間や食事の時間など、登校日と大きく変わらないように過ごしましょう。
- 「行先」「誰と」「帰宅時刻」等の確認をお願いします。
- 交通ルールを守るなど、自分の命は自分で守りましょう。
- インターネットを使う時は、自分や友達のことは絶対に言わない。
- 暑い時は水分を十分にとり、外出する時には、帽子を被るなどして熱中症対策をしましょう。

町民大学(地域の方と交流を深めました)

10日(水)に町民大学の方が授業参観と4年生との交流学习等を行いました。

参観では、外国語を勉強している姿やタブレットを使いこなす姿にひと昔まえの教育との違いを感じていました。

また、交流学习では、現在の岩内東小学校の校舎に引っ越す様子や岩内大火のことなどについての動画を見ました。不思議に思ったことや疑問に思ったこと等を住民大学の方が教えてくれることで学びを深めることができました。



ボランティアさんに感謝

今年度もたくさんの方から協力をいただきながら、色々な活動を進めています。

4月の登下校時の見守りや水泳学習等でご協力をいただき、本当にありがとうございます。

7月も家庭科で「裁縫のお手伝い」をしていただきました。指導するのは担任ですが、困った時に、サポートしてくれる方がたくさんいることで、子どもたちも安心して学習に取り組むことができました。

2学期も家庭科等の学習でご協力いただきたくもあると思います。1学期に引き続きよろしくお願ひします。



学校閉庁日について

教職員の心身のリフレッシュと休暇取得促進を図るため、夏季休業中に「学校閉庁日」が定められています。岩内町では、8月13～16、19日が学校閉庁日となっておりますので、ご理解、ご協力くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

学校閉庁日は、原則職員が不在となりますので、お問い合わせなどは学校閉庁日以外にお願いいたします。なお、事故や病気等の緊急の連絡の必要がある場合は、岩内町教育委員会(62-7099)にご連絡ください。教育委員会より、連絡がつながるようになっていきます。

有意義な夏休みをお過ごしください

事故や怪我に気をつけ、楽しい夏休みにしてください。始業式の明るく元気な笑顔を待っています。

